

開催日時	令和3年8月27日(金) 19時00分～
開催場所	Web会議
出席者	間瀬、沖山、山本、木澤、正木、永嶋、中川、堤、前川、伊藤、小森、檀辻、山口、成田、岩田、本田、小山、樋笠、有吉、清原、鮫島、岩井
欠席者	
記録者	中川
議題1	政策協定書の提携について <p>日本理学療法士協会臨時士会長会議で、「連盟として政策協定書を取り交わす活動をする・その際に都道府県士会長に同席・同行をお願いしたい」という依頼があったと報告があった。 連盟が中心になるが、連盟と県士会とで方針を協議する。協定案を県士会で使用・応用して、政治活動に活かすことになる。 会長としては県士会が先頭に立って選挙をおこなうつもりはない。あくまでも連盟の後方支援をするという形をとりたいたいと考えている。今の現状を理解してもらい議員を増やすことが必要と考えている。協定書は連盟とかわすが、士会長は同行するということを考えている。 リハビリテーションを考える議員連盟のビデオを視聴。 協会に同席すると報告することとなった。</p>
議題2	士会活動の大項目について <p>会長より前回理事会に提示した目標の中の重点項目を以下と考えていると、説明があった。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 士会員の生活を守る。 生活を守る職能活動。各議員、および公的機関との関係強化。2. 資質の向上 登録理学療法士取得の促進。限りなく100%へ。 認定理学療法士および専門理学療法士取得の促進。研修会が受講しやすい士会に。 地域リハ・予防関連の研修の充実。
議題3	現状確認および報告・検討事項

- ・会長行動録が報告された。7月21日に協会長と会談(県との関係、市町単位での窓口の設置、補助金の獲得)。
- 8月18日臨時士会長会議出席。
- ・各局からの活動報告があった。
- ・委員会が出来たら表彰委員会に報告をするように。
委員のカウントについては常設の委員会だけでよいこととなった。
委嘱状を出したところでカウントすることとなった。
- ・ふれあいの祭典について(10月16・17日)
- ・協会長賞推薦 2名決定した。
- ・ICTDX LINE WORKS の参加者が106名になったので有料となった。
- ・傷害保険・賠償責任保険のコロナ感染対応について
今までの保険は傷害保険(部員以上が対象)ではコロナに対応していないため、業務災害のコロナ対応型(一般会員も含める)に変更する。保険料の差額は4000~5000円として組んだ。スポーツ活動部など一般会員対象の傷害保険、賠償責任も継続して契約する。
- ・近畿ブロック事務局長会議 8月28日について
意見聴取:近畿学術大会の一般演題募集の声掛け。
- ・人材育成研修会 3職種にきちんと処方が出ていないと感じている。
- ・資料調査部 部員と連絡が取れなくなった。退部の規定の決まりを設けたい。→社会人のモラルの問題となる。部員の指名は部長の職責であるため、担当理事に報告程度で、本人にはその旨を伝えるのみで構わない。
- ・ふれあいの祭典にOT,STは出席されるが、PTは参加中止のままでいいのか。→PTはPTの県士会の判断でいいと考える。県に開催されるかどうか再確認が必要。多くの人が集まるところに会員を立たせるのは難しい。掲示やパンフレットをおくのみでの参加なら考える余地はある。公益事業に対してどう対応するかを考える必要がある。拡大期などで県がすることはないとと思われる。県がどうしてもという要請があれば、その状況にあわせて参加する可能性があるかと返答することとなった。
- ・保健福祉部が4回研修会を開催する予定である旨報告された。
- ・介護予防推進リーダー研修実施に向けての準備について、募集について、県外の会員は参加できるかどうか、まず担当参与に問い合わせることとなった。
- ・来年度の県学会の準備委員会が来月より開催される旨報告があった。
- ・近畿学会の一般演題募集期間を延長するかどうか次回の準備委員会で決定する。
- ・卒後教育部 協会から指定された資料で行うが、講師については内容に対して専門の人を選びたい。→講師の選定をしっかりともらえればそれでも構わないこととなった。A項目は理事、それ以外は専門の人で行う。新プロ修了は必須。出来たら認定理学療法しか専門理学療法士が望ましい。
- ・感染予防対策委員会:8月13日委員会開催した旨報告があった。
- ・COVID19第5波医療・福祉提供体制の維持のための地域連携会議の報告があった。
- ・支部運営審議会 次年度予算審議会の開催を準備
- ・理事対数の改定により支部運営審議会への担当理事配置を鑑み、規定を見直す必要あり。支部渴望に関する規則、規定の第3章役員で役員の定数は13名以上、16名以内、支部担当理事2~4名に改定することとなった。→正式な文書として作成し、理事に配布し、正式承認とする。
- ・ひめじマラソン開催 が2月27日に開催予定(正式に解されるかどうかは11月に決定)。事前の対面研修は可能か。→現時点では対面研修をしてもいいとは言えない。毎年行われている内容なので、今まで受けた人から考慮すればどうか。
- ・支部局のZOOMアカウントは人数が100名までになっているが、研修会の案内で100名限定とせざるを得ないため、常時500名での設定は可能か。→可能。
- ・尼崎支部のZOOMで開催された新人発表会説明会の録画掲載の可否について→プライバシー、著作権に問題がないのであれば、可能。県で統一したもの作ればどうか。→支部によって異なる部分があるため、支部毎に行っている。新制度になってどうなるか分からないため、今年度は現状のままで。
- ・神戸東 支部LINE WORKSを連絡方法にした。
- ・職能部の活動報告があった。連盟士会共催研修会9月9日開催予定。
- ・茨城県士会・連盟の紹介があった。
- ・スポーツ活動支援部でオリ・パラの報告をしたいが、参加した会員からは職場からネガティブに思われていることもあり、報告するのは少し過ぎてからにしたいという意見がある。

次回部会
日時・場所

日時;令和3年9月17日(金)19時から
場所;web

